

第6回 日本建築士会連合会

建築作品賞 応募要項

目的

日本各地の建築士による、気候風土や地域の課題に真摯に向き合い、まちづくりや地域づくりに貢献・寄与している建築作品を募る。その中から、特に創意と工夫に満ち、地域の建築への広がりが期待される建築作品の設計者である建築士を顕彰する。

応募対象

対象区域

日本国内とする。

対象建物作品

以下のカテゴリーごとに、建築作品を募る。令和3年(2021年)4月1日以降に検査済証の交付を受けた建築で、規模は問わない。ただし、リノベーションによる建築で確認申請不要のものについては、前記、期日以降に竣工したもので建築基準法令等に違反していないことが確認できればよい。

どのカテゴリーで応募するかは、応募者の主観的な判断でよい。(カテゴリーの妥当性は審査に影響しない)

- 1 新築の建物
- 1-1 居住・生活空間系の建物
- 1-2 教育・文化・医療・福祉系の建物
- 1-3 商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物
- 2 リノベーションによる建物
- (主たる部分がリノベーションであれば新築・増築を含んでよい。)
- ※カテゴリーごとの建物は下記の「対象建物のカテゴリーごとの建物例」を参照。
- ※応募者は、あらかじめ建物所有者の了解を得て応募すること。

対象者

応募に係る建物の表彰対象設計者は、主たる設計者として実質的に設計し、かつ応募時に士会の正会員である者に限る。なお、共同設計者は表彰対象設計者ではない。U40建築賞の対象者は、上記の表彰対象設計者の内、応募建物の竣工時に40歳以下であり、かつ応募時にU40建築賞の審査を希望した者に限る。

所有者の了解

応募者は、あらかじめ建物所有者の了解を得て応募すること。

対象建物のカテゴリーごとの建物例

1 新築の建物	1-1 居住・生活空間系の建物	戸建住宅 別荘
		集合住宅 リゾートマンション
		寮 学生寮 独身寮
		保育園 幼稚園 こども園
	1-2 教育・文化・医療・福祉系の建物	小学校 中学校 高等学校
		大学 研究所
		研修所*宿泊施設が主要なものは1-3分類
		図書館 博物館 美術館 展示場
		ギャラリー 各種資料館
		集会施設 文化会館 劇場
		コンサートホール 多目的ホール
		スポーツ施設
		病院 診療所
		医療・看護・介護・福祉施設
		高齢者 障がい者施設
		宗教施設 斎場
	1-3 商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物	店舗 ショッピングセンター
		事務所
		官公庁舎等施設
		駅・空港・ターミナル等交通施設
		ホテル 旅館 保養所
		研修所*宿泊施設が主要なもの
		生産施設 物流施設
		ごみ焼却所、清掃工場、発電所
		その他
2 リノベーションによる建物		
※複合施設（複数の主要用途を有する建物、建物群、地域再開発）のカテゴリーについて		
①複数の用途の中で主要用途の明らかなものは、その用途のカテゴリーとする。		
②複数の主要用途が1-1と1-2の二つのカテゴリーの場合は1-2とする。		
③複数の主要用途の内、1-3の用途を含むものは1-3とする。		
④複数の主要用途の中で特に応募者が応募対象とする用途がある場合は、その用途のカテゴリーでの応募も可能とする。ただしこの場合も複合施設全体の評価と、その中で の応募対象用途のあり方を含めて審査する。		

応募資料

申込

連合会ホームページの建築作品賞のMicrosoft Formsより必要事項を記入する。
Microsoft Forms URL <https://forms.office.com/r/K3Emm1JcTY>

審査資料

①図面(平面図、断面図、配置図、矩形図等作品説明に必要なもの)、写真、および説明書等をA3判・10ページ以内の1ファイルのPDFデータとし作品名をタイトルとする。(最大容量50MB以内) ②審査資料に掲載の写真(JPEG形式1600×1200程度)は別途フォルダにまとめる。

①と②すべてのデータを、zipファイル(タイトルを作品名)とし、下記URL(Nextcloud)へ提出する。

<https://next.kenchikushikai.or.jp/index.php/s/ny8bQQTDFDewcn9>

応募参加費

参加料は無料とするが、応募に要する費用は、応募者の負担とする。

応募締切および提出先

令和8年3月31日(火)17:00 までに

Microsoft Formsに入力をし、Nextcloudへデータの格納を完了すること。

選考の方法

応募作品は、本会におかれた審査委員会において、一次審査(書類審査)、二次審査(現地審査)を受け最終選考会で受賞者を決定する。

審査基準

カテゴリーごとに、その建築の意匠性の深度および計画・構造・設備・構法の設計合理性を審査する。まちづくりや地域づくりへの貢献・寄与に関しては、以下の観点から評価する。

・地域の自然環境・気候風土と良好な関係を作っているか

・地域の街並み・景観の形成について規範性が示されているか

・地域の歴史性、文化性、社会性が表出されているか

・地域の人々の安全・便利・快適な暮らしの実現に寄与しているか

・その地域に人々を呼び込み、賑わいを創出しているか

表彰

表彰は、理事会の議を経て、建築士会全国大会で行う。

カテゴリーごとに優秀賞1点及び奨励賞を選考し、優秀賞の中から大賞を1点選考する。U40建築賞は、応募時に併せて審査を希望した40歳以下の筆頭設計者より選考する。各賞には賞状を贈るほか、各カテゴリーの優秀賞には賞金10万円を贈る。加えて大賞には賞金10万円を贈る。

受賞者等の発表

作品賞受賞者本人、各建築士会および関係機関に通知するとともに、本会会誌「建築士」およびホームページ等にて公表する。

また、会誌「建築士」構成の都合上、共同設計者は顔写真の掲載を見送る場合もある。

一次審査(書類審査)で落選した場合の通知は行わない。

※本会が表彰作品の関係資料を展示および会誌、ポスター、ホームページおよび建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)、報道機関での受賞作品掲載等、コンソーシアム等に掲載等をする場合は、無償で使用できるものとする。

審査委員会

順不同敬称略

審査委員長

青木 淳[AS]

審査副委員長

可児才介[可児アトリエ]

審査委員

茂島 亮[株式会社山下設計]

後藤 治[工学院大学]

菅 順二[株式会社竹中工務店]

佐藤光彦[日本大学]

三澤文字[有限会社エムズ建築設計事務所]

大谷弘明[株式会社日建設計]

横内敏人[有限会社横内敏人建築設計事務所]

鮎川 透[株式会社環・設計工房]